



交通安全対策

阪神高速グループでは、交通事故を削減してより安全な高速道路とするため、交通安全対策に取り組むとともに、関係機関とも連携し交通安全啓発活動にも取り組んでいます。

阪高快適走行プロジェクトの推進

本プロジェクトでは、走りやすさへの課題を改善し、より安心して阪神高速道路をご利用いただくために、カラー舗装やわかりやすい案内表示に取り組むほか、スムーズに目的地に向かえるような情報の発信や走り方のコツをお知らせするコンテンツを拡充させるなど、ハードとソフト両面からさまざまな取り組みを実施しています。2022年度は、一部のレーンに交通が集中し、車両が錯綜していた本線料金所付近での交通を分散させるためのカラー舗装や、喜連瓜破大規模更新工事に伴う通行止め区間のう回路となる大和川線を、より安全にご利用いただくための走行のコツをお伝えする動画のホームページ上での公開などを行いました。



本線料金所の交通分散を図るカラー舗装



走行のコツをお伝えする走行動画

交通安全啓発活動の実施

「STOP! NAGARA DRIVING PROJECT(通称SNDプロジェクト)」は、阪神高速道路(株)、西日本高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)、(株)エフエム大阪の4社が手を取り合って、高速道路での危険運転を撲滅し、交通事故ゼロを目指すプロジェクトです。わき見をし「ながら」の運転や、スマートフォンを操作し「ながら」の運転、運転手の身勝手なあおり運転(イライラし「ながら」運転)などを防止するため、交通安全啓発活動の一環として、2022年度は「SNDメッセージキャンペーン」を夏と冬の2回にわたり開催しました。あわせて約2,400件のご応募がありグランプリ作品をもとにラジオドラマCMの制作も行いました。



SNDメッセージキャンペーン